

コロナウイルスに立ち向かい核兵器のない公正な世界を

5月12日（火） 国民平和行進宣伝カーは
紀の川市を午後5時30分過ぎに走りました。



紀の川市庁舎前・松田健司さん 覺道幸久さん



打田駅前を走る平和行進宣伝カー

5月12日（火）少し風があり、曇りです。平和行進宣伝カーは、紀の川市に入りました。

那賀原水協の松田さんと覺道さんと県原水協事務局の3人で、紀の川市総務課を訪問しました。柏木総務部部長と総務課長に対応頂き、短時間でしたが懇談をする事ができました。最初、市長からのペナントと協賛金を柏木部長より受け取りました。お礼を述べ、県内の被爆者も呼び掛けていますと言い添えて市長への「ヒバクシャ国際署名」の役職署名を要請しました。さらに庁舎に「被爆者募金箱」置かせて頂きたいとお願いをしました。当局から「市の原爆者写真展（8月開催）」で置かせてもらいます」と了解をいただきました。又、市議会事務局も訪問し、議長への「ヒバクシャ国際署名」の役職署名を事務局の矢田次長にお預けしました。

市庁舎前から宣伝カーが出発する前、松田健司さんの「がんばりましょう」と言葉で平和行進宣伝カーは出発しました。市庁舎前からJR打田駅までを往復し「♪ 必要なのは、争いではなく世界中の協力、武器よりも薬、兵士よりも医療なのです。軍隊を持たない、戦争をしないと誓った平和憲法をもつ日本こそ、すべての軍備を医療に回し、世界中が協力して新型コロナウイルス感染症対策に取り組もうと発信するべきです。♪」と訴えるアナウンスを繰り返して走りました。

明日は、岩出市を宣伝カーが走ります。

県原水協事務局